

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2014年11月21日
JAM熟練技能継承推進室

課題を抽出し次に引き継ぐ

～今年度前期の指導者および指導先へのアンケート調査～

熟練技能者の指導派遣は年間計画に基づき引き続き実施しているところであるが、平成26年度前期技能検定受検が済んで今年度の指導が終了した指導先と指導者に、指導派遣に対する評価や課題を抽出するためにアンケートを実施した。

これまでに協力戴いたのは、指導先の高等学校16校（18職種）・中小企業1社、および指導を受けた生徒・従業員143名、そして指導にあたった熟練技能者12名。

右上グラフは指導派遣先の学校の担当教員と企業の受け入れ担当者への「JAMによる熟練技能者派遣での技能指導に満足したか？」の問いに対する回答で、右中グラフは受講者（高校の生徒と企業の従業員）への「熟練技能者（外部講師）の指導はどうだったか？」の問いに対する回答。

学校・企業の“どちらとも言えない”や、受講者の不満の中身を自由記述などから分析すると、受講回数が少なかったことや、以前受けた指導との違いに戸惑うケースもあった。

一方、指導した熟練技能者に“JAMの事業で指導したことへの満足”を聞いた設問では殆どの熟練技能者が満足し、1名が「時間的な制約のため十分伝えられなかった」と、“やや不満”と回答した。（右下グラフ）

これらの結果から抽出した技能指導派遣にあたっての重要な課題は、次に同様の事業を推進する「ものづくりマイスター制度」の運営にあたってのノウハウとして引き継がれるよう、JAMとして働きかけていく。

